

1. 2022 年度 健康診断事業の実施状況

2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までに実施した健康診断の受診者総数は 920,520 人であり、今年度は対前年度比 102.5%であった。

また、定期健康診断の受診者数は 342,159 人で前年より 6,542 人（前年比 2.9%）の減少であった。（表 1）

表 1：健診種目別件数

	事業所数	健診人数
定期健診	25,055	342,159
特殊健診	10,423	198,678
生活習慣病健診	32,402	379,683
合計	67,880	920,520

2022 年度の健康診断種目別割合は、事業所数では生活習慣病健診 47.7%、定期健診 36.9%、特殊健診 15.4%となっている。（図 1-1）

一方、健診人員で見ると、生活習慣病健診 41.2%、定期健診 37.2%、特殊健診 21.6%であり、生活習慣病健診、定期健診は共に約 4 割前後の受診であった。（図 1-2）

*各図表の構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならない場合があります。

図 1-1：健診種目別実施事業所数割合

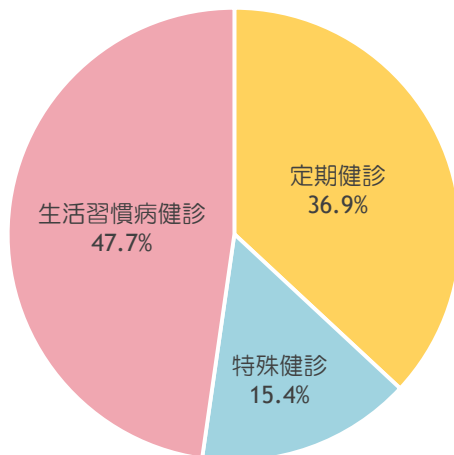
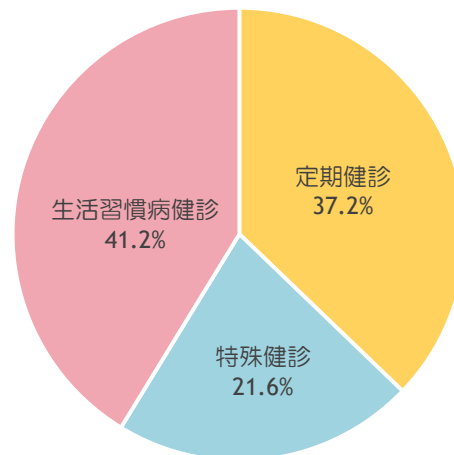


図 1-2：健診種目別実施事業所健診人数割合



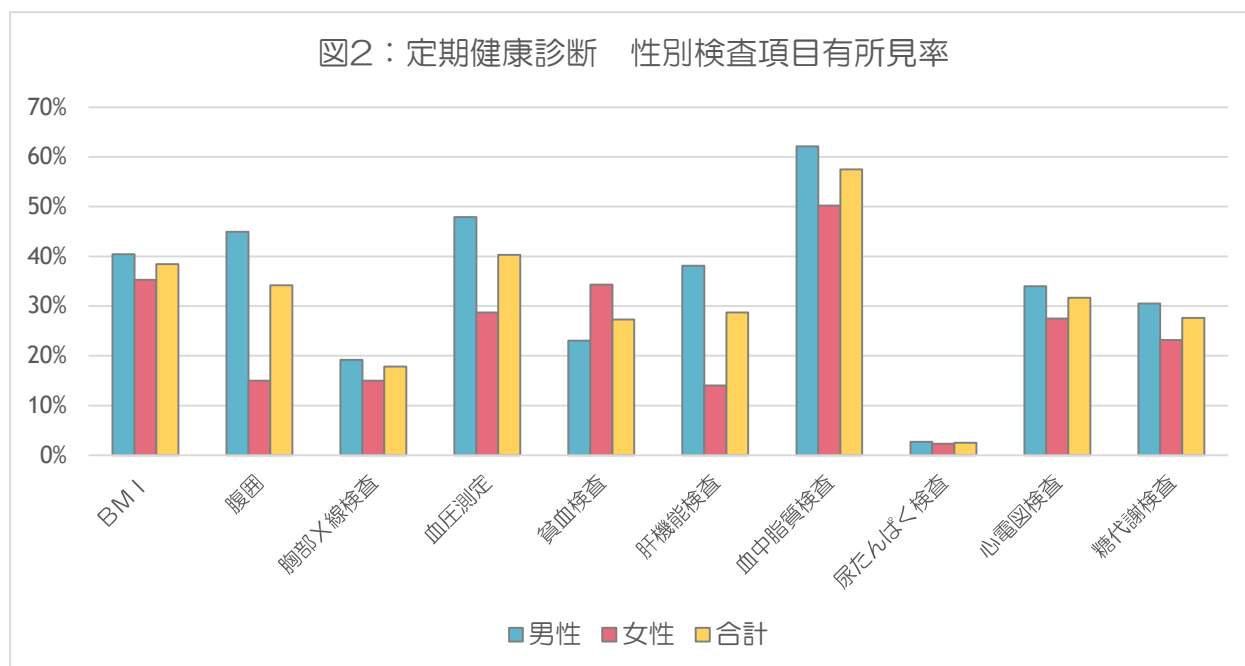
2. 2022 年度 健診項目別有所見率について

労働安全衛生法における定期健康診断の必須項目である身体検査（BMI）、血圧測定、尿検査等の実施者が多く、ほかの健診項目別の実施状況においては（表 2-1、2-2）の通りである。

性別、健診項目別に有所見率をみると有所見の率が最も高い健診項目は血中脂質検査で 57.5%であり、次いで血圧測定 40.3%であった。（図 2）

	受診者	有所見者	有所見率
BMI	344,252	132,030	38.4%
腹囲	297,008	101,493	34.2%
胸部 X 線検査	270,028	47,981	17.8%
血圧測定	343,750	138,581	40.3%
貧血検査	297,443	81,245	27.3%
肝機能検査	304,882	87,578	28.7%
血中脂質検査	300,132	172,429	57.5%
尿たんぱく検査	345,705	8,706	2.5%
心電図検査	270,418	85,735	31.7%
糖代謝検査	339,462	93,681	27.6%

	男性	女性	合計
BMI	83,879	48,151	132,030
腹囲	85,472	16,021	101,493
胸部 X 線検査	31,829	16,152	47,981
血圧測定	99,725	38,856	138,581
貧血検査	42,052	39,193	81,245
肝機能検査	70,883	16,695	87,578
血中脂質検査	113,486	58,943	172,429
尿たんぱく検査	5,661	3,045	8,706
心電図検査	59,540	26,195	85,735
糖代謝検査	62,660	31,021	93,681

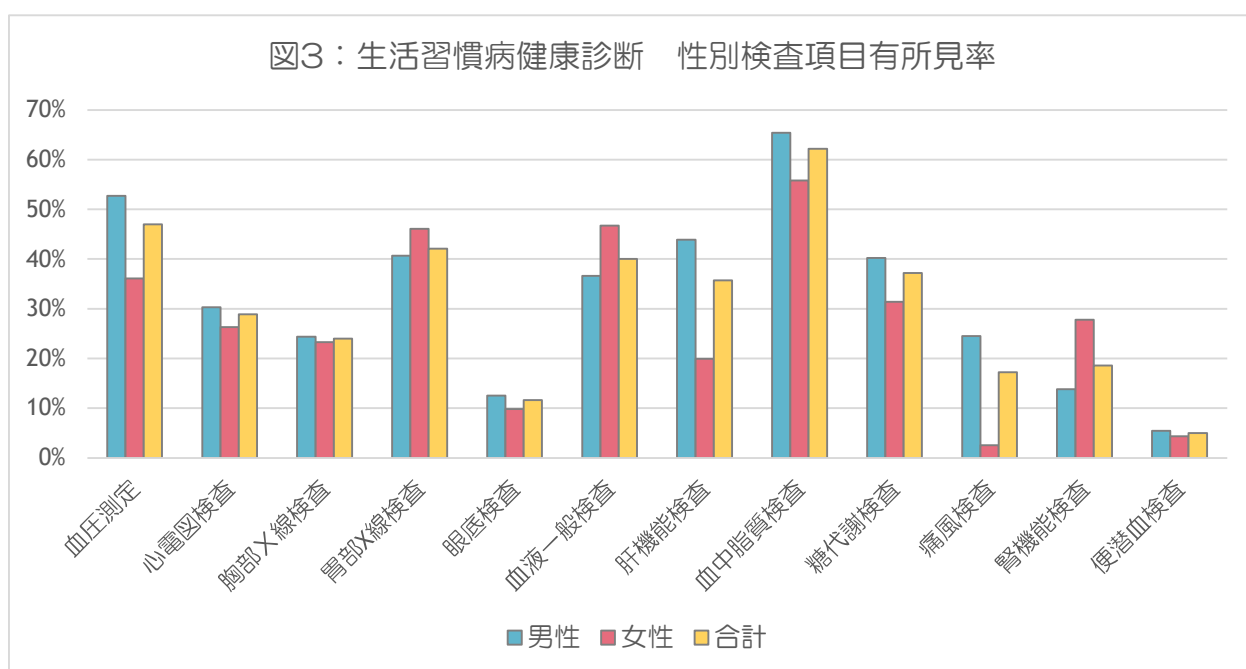


また、生活習慣病健康診断の性別、健診項目別に有所見率をみると、有所見の率が最も高い健診項目は血中脂質検査で62.3%、次いで血圧測定で46.6%であった。(表3-1、3-2)

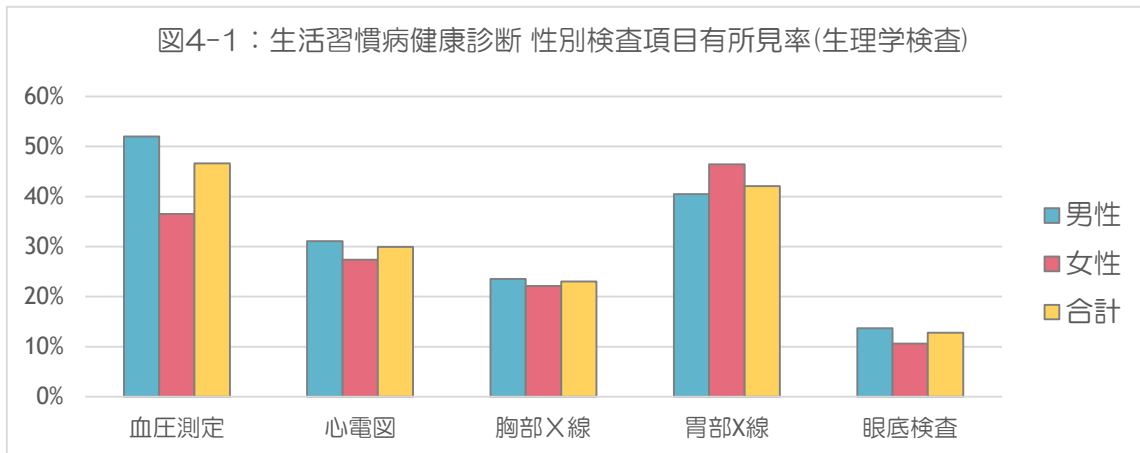
性別において男女ともに高いのは血中脂質検査(男性65.7%、女性55.8%)であり、男性で高いのは血圧測定(男性52.0%、女性36.5%)、肝機能検査(男性43.5%、女性19.4%)、胃部X線検査(男性40.5%、女性46.4%)などであり、逆に女性が高いのは胃部X線検査、血液一般(男性35.6%、女性44.9%)であった。(図3)

	受診者	有所見者	有所見率
血圧測定	367,993	171,530	46.6%
心電図検査	367,738	109,816	29.9%
胸部X線検査	365,302	84,089	23.0%
胃部X線検査	116,514	49,047	42.1%
眼底検査	90,115	11,502	12.8%
血液一般検査	366,739	142,356	38.8%
肝機能検査	367,318	129,094	35.1%
血中脂質検査	367,174	228,665	62.3%
糖代謝検査	367,917	133,028	36.2%
痛風検査	298,664	51,596	17.3%
腎機能検査	365,477	67,544	18.5%
便潜血検査	230,689	11,329	4.9%

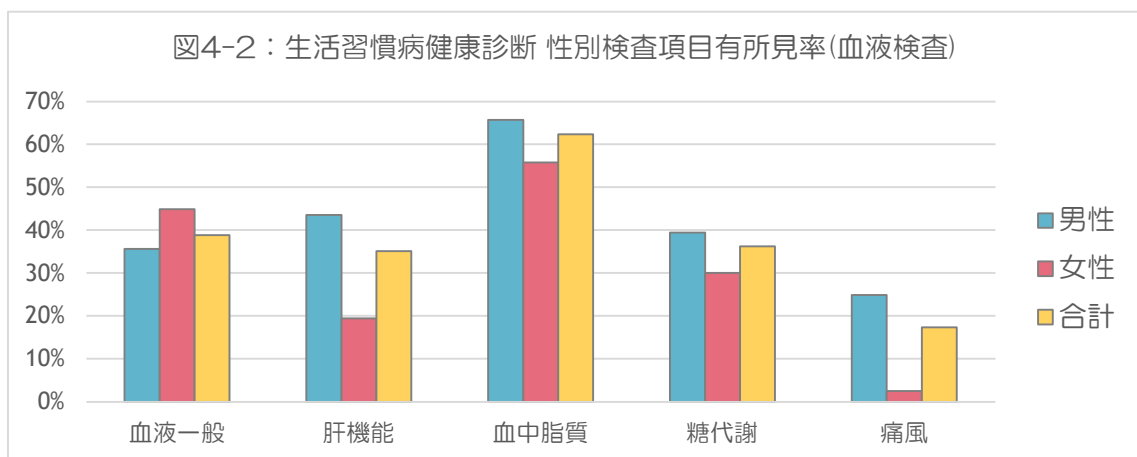
	男性	女性	合計
血圧測定	116,868	41,404	158,272
心電図検査	67,772	29,784	97,556
胸部X線検査	54,435	25,956	80,391
胃部X線検査	29,639	12,104	41,743
眼底検査	6,639	2,424	9,063
血液一般検査	80,917	53,317	134,234
肝機能検査	97,282	22,771	120,053
血中脂質検査	144,905	63,842	208,747
糖代謝検査	89,155	35,965	125,120
痛風検査	43,727	2,264	45,991
腎機能検査	30,565	31,777	62,342
便潜血検査	7,697	2,761	10,458



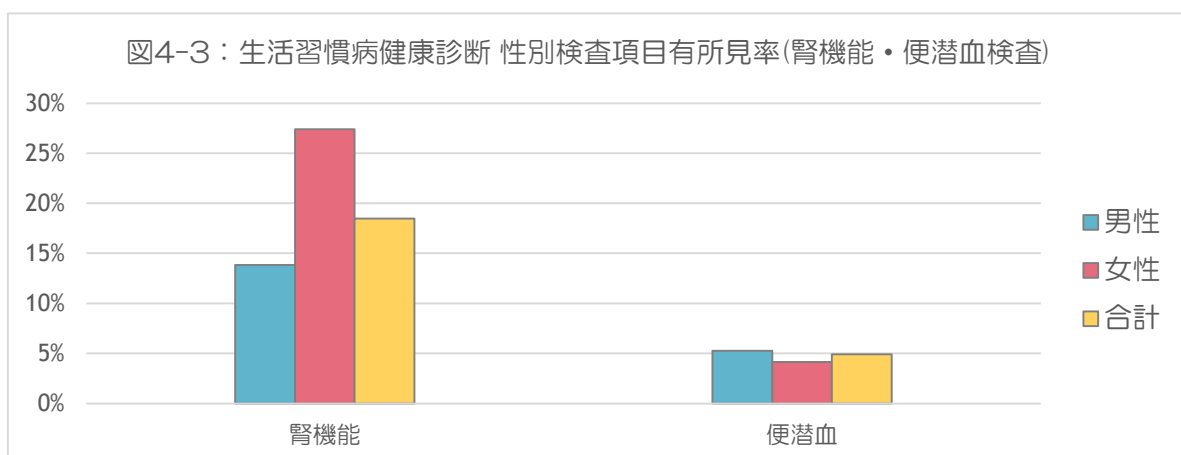
生活習慣病健康診断において、生理学検査で有所見率が最も高いのは血圧測定（男性 52.0%、女性 36.5%）であり、次いで高いものは胃部X線検査（男性 40.5%、女性 46.4%）であった。（図 4-1）



血液検査で有所見率が最も高いのは男女ともに血中脂質検査(男性 65.7%、女性 55.8%)であり、過半数を占めている。次いで高いものは男性で肝機能検査（43.5%）、女性で血液検査一般（44.9%）であった。（図 4-2）



腎機能・便潜血検査では、有所見率は腎機能検査が高く、男性 13.8%、女性 27.4%であった。女性に関しては、男性の約 2 倍と有所見率に大きく差が見られた。（図 4-3）



3. 2022年 作業環境測定の実施状況

2022年に作業環境測定を実施した事業場の総数は、972事業場で首都圏を中心に北海道から大阪府まで、1都1道1府20県に及んでいる。作業環境測定を実施した単位作業場所の延べ数は、6,882事業場所で、前年と比較すると62単位作業場所の減少となった。実施項目別の延べ場所数については、表4に示す通りである。

表4：作業環境測定実施項目別の延べ作業場所数

	有機溶剤	粉じん (石綿を除く)	石綿	非金属類	金属類 (鉛を除く)	鉛	騒音
合計	2874	1164	0	1945	385	16	498
対前年増減数	▲62	20	15	0	▲118	3	▲2

実施項目別の状況では、有機溶剤が全体の41.8%、非金属類が28.3%、粉じんが16.9%で、この3項目を合計すると実施全単位作業場所の約87%を占めている。(図5)

